

5月17日に本校の千松寺田でドローンを使った直播栽培実習が行われました。スマート農業に係る学習を支援する川西町の補助事業として開催されたものです。取材に訪れたテレビ局や新聞社の多さから、この技術に関する関心の高さがうかがえますが、本校はこの方式と慣行方式での収穫量や米の質の違いなどを実証的に研究し、その成果を社会に発信していくことになっています。

本校では、このような研究と並行して「アイガモによる有機栽培」なども手掛けており、決して効率だけを追求するのではなく、「手間をかける」という伝統的農業の大切さも学びます。一見、全く違う次元のように見える様々な試みを通し、農業の本質を追求するとともに、人々が忘れかけているものを再認識する場がこの「おきのう」にはあるのだと確信した日でもありました。



町の協力によるドローン直播栽培実習